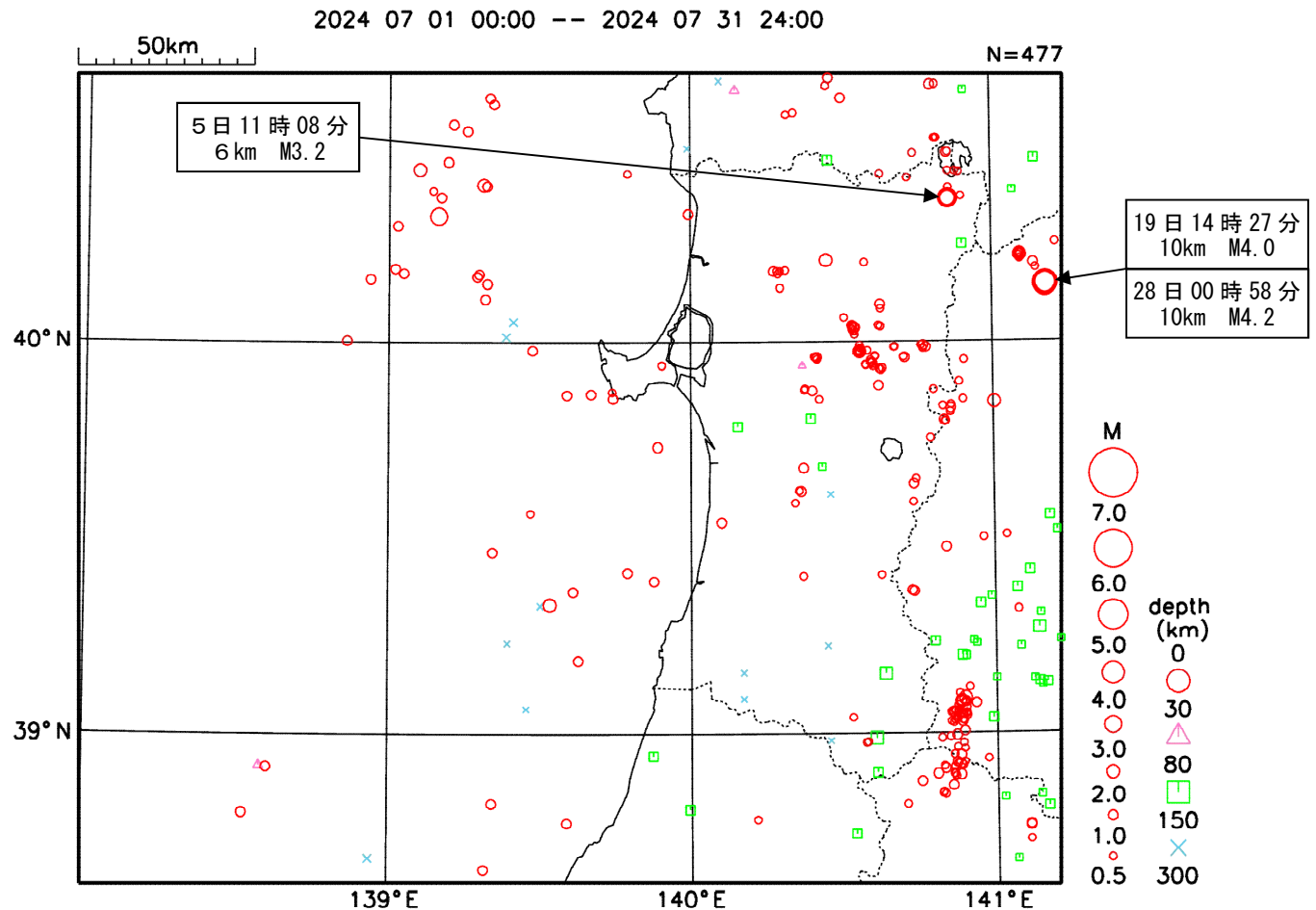


秋田県月間地震概況

秋田地方気象台

2024 年 7 月

【震央分布図】



〈 7 月 の 地 震 概 況 〉

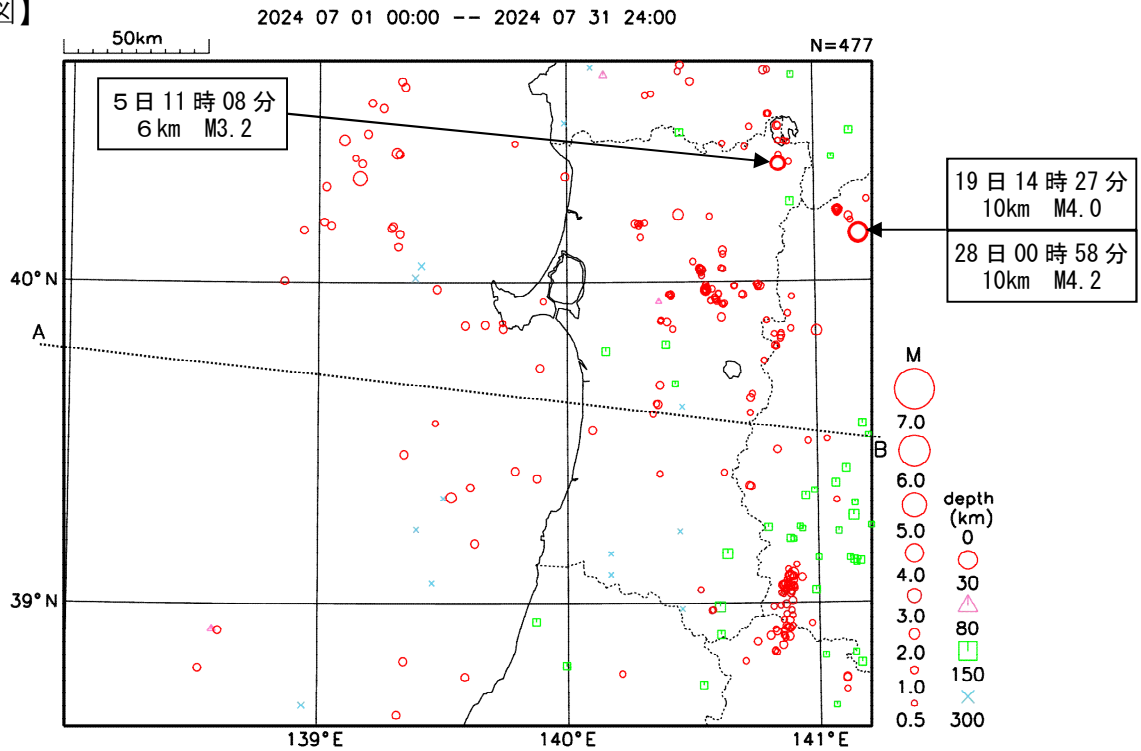
今期間、秋田県内で震度 1 以上を観測した地震は 6 回（6 月：4 回）で、図の範囲内を震源とする地震が 3 回、図の範囲外を震源とする地震は 3 回であった。

5 日 11 時 08 分に秋田県内陸北部の深さ 6 km で M3.2 の地震が発生し、秋田県と青森県で震度 1 を観測した。県内では小坂町で震度 1 を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

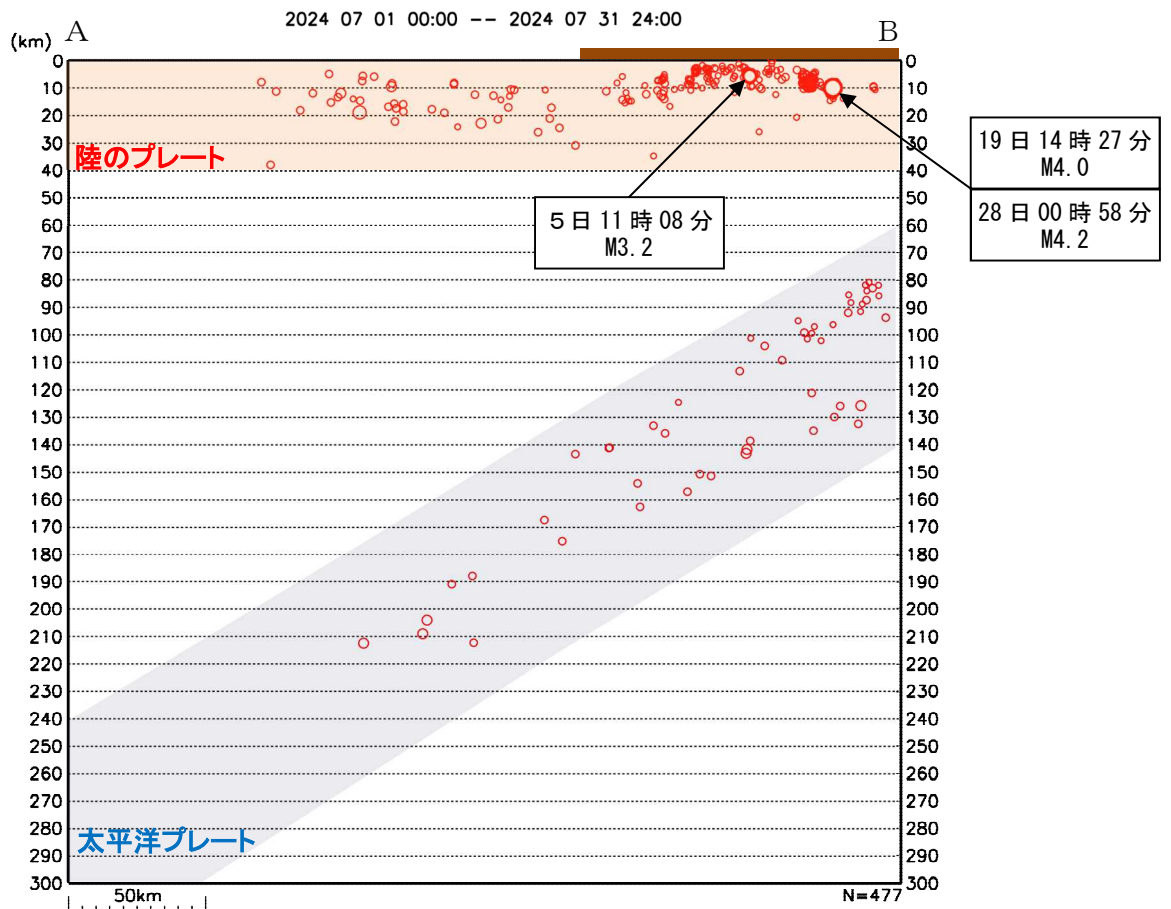
19 日 14 時 27 分に岩手県内陸北部の深さ 10 km で M4.0 の地震が発生し、岩手県で震度 4 を観測したほか、秋田県と青森県、北海道で震度 1 を観測した。県内では、大館市や鹿角市、小坂町で震度 1 を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

28 日 00 時 58 分に岩手県内陸北部の深さ 10 km で M4.2 の地震が発生し、岩手県で震度 4 を観測したほか、秋田県と青森県、宮城県、北海道で震度 2 ～ 1 を観測した。県内では、大館市や鹿角市、三種町などで震度 1 を観測した。この地震は、地殻内で発生した。

【震央分布図】



【断面図】 (震央分布図内の直線A－Bを断面として投影した震源の深さの分布)



※ 太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ — は陸地の大まかな位置を示している。

※ 陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。

なお、海域地殻内の地震の震源（日本海の浅い地震など）は、実際にはより浅いものが多いと考えられる。

秋田県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2024年07月 1 日～2024年07月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2024年07月05日11時08分	秋田県内陸北部	40° 21.8' N	140° 51.4' E	6km	M3.2
秋田県	震度 1：小坂町小坂砂森＊				
2024年07月19日14時27分	岩手県内陸北部	40° 08.6' N	141° 10.6' E	10km	M4.0
秋田県	震度 1：大館市桜町＊ 鹿角市花輪＊ 小坂町小坂砂森＊				
2024年07月21日05時46分	宮城県沖	38° 41.3' N	141° 56.9' E	57km	M4.6
秋田県	震度 1：横手市雄物川町今宿 湯沢市沖鶴 大仙市刈和野＊ 大仙市北長野＊ 大仙市高梨＊ 仙北市西木町上桧木内＊ 仙北市角館町小勝田＊				
2024年07月23日08時27分	宮城県沖	38° 13.0' N	141° 48.2' E	66km	M4.7
秋田県	震度 1：横手市雄物川町今宿 湯沢市川連町＊ 東成瀬村椿川＊ 大仙市大曲花園町＊ 大仙市高梨＊ 仙北市西木町上桧木内＊				
2024年07月28日00時58分	岩手県内陸北部	40° 08.8' N	141° 10.7' E	10km	M4.2
秋田県	震度 1：三種町森岳＊ 大館市比内町味噌内 大館市桜町＊ 大館市比内町扇田＊ 大館市早口＊ 鹿角市花輪＊ 小坂町小坂砂森＊ 上小阿仁村小沢田＊ 北秋田市花園町 北秋田市新田目＊				
2024年07月28日19時13分	三陸沖	39° 28.6' N	143° 35.9' E	7km	M5.5
2024年07月28日19時13分	宮城県沖	38° 45.7' N	142° 25.7' E	45km	M3.9
秋田県	震度 1：井川町北川尻＊ 秋田市河辺和田＊ 秋田市雄和新波＊ 由利本荘市西目町沼田＊ 由利本荘市前郷＊ 横手市大雄＊ 大仙市刈和野＊ 大仙市北長野＊ 大仙市太田町太田＊ 大仙市大曲花園町＊ 大仙市高梨＊ 仙北市田沢湖生保内宮ノ後＊				

（注）地震の震源要素等は暫定値であり、再調査により変更することがある。
複数の震源要素を併記しているものは、ほぼ同時刻に発生した地震のため震度の分離ができないことを示す。
各地の震度は秋田県のみを示し、＊は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

地震から身を守るために

防災メモ

地震は、いつどこで起こるか分かりません。普段からできる地震への備えを、改めて確認しておきましょう。

また、いつどこで地震が起きても、その場の状況に応じた行動がとれるように、普段からイメージトレーニングや訓練をしておきましょう。

普段からできる地震への備え

✓ 備蓄・非常持ち出し品の準備

非常時の水・食料の備蓄や、非常用持ち出し品を準備しておきましょう。

✓ 安全スペースの確保

室内になるべくものを置かない「安全スペース」（ものが落ちてこない・倒れてこない・移動しない空間）を作っておきましょう。

室内の備えのイメージ
(資料：東京消防庁)



✓ 周囲の状況の確認

普段通る道に危険な場所やものがないか確認しておきましょう。また、地盤の弱い場所や地震によって地盤の緩んだ場所では、降雨などにより土砂災害が発生することがあります。前もって周囲の状況を確認しておきましょう。

✓ 連絡手段の確認

地震が発生したときの連絡手段や集合場所について、あらかじめ家庭で話し合っておきましょう。

✓ 家具の固定

家具を固定しましょう。また、万が一倒れてきた場合でも、通路をふさがらないような配置を考えましょう。

✓ 訓練に参加しよう

本当に地震が起こったときに、あわてずに身の安全を図ることができますか？積極的に訓練に参加しましょう。

緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたりしたら

家庭では

- ・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- ・あわてて外に飛び出さない。
- ・無理に火を消そうとしない。



エレベーターでは

- ・最寄りの階で停止させて、すぐに降る。



鉄道やバスなどに乗車中は

- ・つり革や手すりにしっかりつかまる。



街中では

- ・ブロック塀の倒壊等 zu 注意。
- ・看板や割れたガラスの落下 zu 注意。
- ・丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難する。



【参考資料】地震から身を守るために
(気象庁ホームページ)



気象庁 | 地震から身を守るために
www.data.jma.go.jp